

In vivo imaging 始めませんか？

2026年1月15日 木

2026年1月16日 金

概要解説 13:00～14:30

機器操作説明① 15:00～16:30

機器操作説明② 16:40～18:10

機器操作説明③ 10:00～11:30

IVIS Imaging Systemは生体内の非常に微弱な発光や蛍光を超高感度CCDカメラで捉え、定量化できる光 in vivo イメージングシステムです。

発光イメージングは、遺伝子のレポーターアッセイに広く利用され、目的とする遺伝子にルシフェラーゼを組み込んだ細胞や動物を作製し、遺伝子が発現する際に発せられる光を捕捉します。捉えた光はソフトウェアによってデジタル処理され、擬似カラーで表示されます。

蛍光イメージングでは、レポーターとして蛍光タンパク質を導入した細胞や動物の観察、蛍光物質などで標識した薬剤や抗体が発する蛍光の追跡が可能になります。

本機を用いることで同一動物の生体反応を経時的に観察することが可能になります。

生体光イメージングに興味のある方、本機を用いた実験を検討されている方、また日頃本機をご使用されている中で使用方法に疑問点がある方、ぜひご参加ください。

開催日：2025年1月15日（木）、16日（金）

会場：概要説明 動物資源部門 鹿田施設 1階セミナー室 定員40名

機器操作説明 動物資源部門 鹿田施設 感染実験区域 定員各回5名（計15名）

講師：住商ファーマインターナショナル株式会社 宮原 瞳

内容：【1月15日（木）】

13:00～14:30 概要説明 : in vivo光イメージングの基礎

15:00～16:30 機器操作説明①：IVIS Lumina 装置立上～2D蛍光発光

16:40～18:10 機器操作説明②：IVIS Lumina 装置立上～2D蛍光発光

【1月16日（金）】

10:00～11:30 機器操作説明③：IVIS Lumina 装置立上～2D蛍光発光

※機器操作説明①～③は同一内容です。

本セミナーは動物資源部門鹿田施設での『現地受講のみ』の開催で配信は行いませんのでご注意ください。座学のみ、機器操作説明のみ参加も可能です。

※機器操作説明は実験室が狭小で全員入室できないため3回開催します。各回とも同じ内容となります。参加希望回はお伺い致しますが、定員の都合上ご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。定員を超えた場合は教室ごとに参加人数を調整させて頂く場合があります。予めご了承ください。

参加申込

申込方法：下記URLまたはQRコードから申込フォームにアクセスし質問事項を入力して送信してください。

申込フォームURL：<https://forms.office.com/r/itucpPAjdm>

申込期限：2026年1月13日（火）17:00

参加費：無料

